

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

2020年6月分（9月30日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	2020.6.2	給排水処理設備 （発電所にて使用する純水等の製造および、非放射性排水を処理する設備）	給排水処理設備において、2塔ある脱炭酸塔のうち1塔の水位が、通常よりも低下していることが確認された。原因を調査中である。 なお、もう1塔について異常はないことから、本事象による当該設備の運転への影響はない。	対応中	給排水処理建屋
2	2020.6.5	放射性ドレン移送設備 （管理区域内の機器および配管からの排水および漏えい水を処理する設備へ移送するための設備）	放射性ドレン移送設備のうち原子炉建屋の高電導度廃液系※ <sup>1</sup> の移送設備において、サンプポンプ※ <sup>2</sup> により廃液を移送していた際に、移送にかかる時間が基準値を超過したことからサンプへの流入量異常を示す警報が発生した。サンプポンプの動作記録等により、状況を確認したところサンプへの流入量の異常はなく、サンプポンプの移送流量の減少が確認されたことから、ポンプ・弁等の異常の可能性があると判断した。 <u>原因調査の結果、吐出流量調整弁に埃が詰まったこと等により流量が少なくなったものと推定した。</u> <u>このため、系統配管および当該弁の洗浄により、詰まりを解消し、正常に排水が移送されることを確認した。</u> ※1 管理区域内の床ドレン、分析室ドレン、化学薬液等を取り扱う機器からの排水等 ※2 槽（サンプ）に溜めた廃液等を移送するためのポンプ	<u>処置済み</u>	原子炉建屋

3	2020. 6. 10	放射線廃棄物処理設備 固化処理設備 （発電所にて発生した濃縮廃液や使用済み樹脂をドラム缶内でセメントと混合させ、固化させる設備）	固化処理設備において、固化体製作工程が完了した際、実際には樹脂が投入されたにも関わらず、運転履歴画面に表示される脱水樹脂計量値が0と表示されていることが確認された。 原因を調査中である。 なお、運転状態を監視する画面による樹脂投入量の表示は正常であることを確認しており、本事象による当該設備の運転への影響はない。	対応中	サービス 建 屋
4	2020. 6. 12	原子炉補機冷却水系設備 （原子炉補助設備に冷却水（非放射性）を供給する設備）	原子炉補機冷却水系設備において、巡視点検を実施したところ、配管内の水の流れを監視するために設置しているフローグラス*内部の部品（コイルバネ）が正規の位置からずれてフラップ（水の流れにより角度が変わる板）が途中で固定されていることを確認した。 原因を調査中である。 なお、当該部品が正規の位置からずれている状態であっても、フローグラスによる通水確認に支障はないこと、および系統内の流れを妨げるものではないことから、プラントへの影響はない。  ※フローグラス 強化ガラス製の窓を設けた設備で、流体の流れを目視にて通水確認ができる機能をもつ。	対応中	原子炉 建 屋
5	2020. 6. 17	放射線廃棄物処理設備 固化処理設備 （発電所にて発生した濃縮廃液や使用済み樹脂をドラム缶内でセメントと混合させ、固化させる設備）	固化処理設備において、自動運転にてセメント混練作業を実施していたところ、作業時間超過を示す警報が発生したため、手順書に従い混練作業を中断した。 その後、セメントミキサの洗浄を行ったところ、洗浄水圧力が高いことを示す警報が発生した。 原因を調査中である。 なお、当面固化処理ができなくても濃縮廃液等を貯蔵しているタンクの容量に十分余裕があるため、本事象によるプラントへの影響はない。	対応中	サービス 建 屋

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。  
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。  
なお、今後、水平展開について検討・対応します。
  
- ・今月の更新箇所は下線で示しています。